

OriHime eye+Switch 利用マニュアル



目次

1. 準備.....P2

1.1 設置

1.2 入力方法について

1.3 スイッチのみで入力する場合

1.4 視線で入力する場合.....P6

1.5 参考.....P13

・視線入力のコツ

2. 利用方法.....P14

2.1 起動画面の概要

2.2 会話

2.3 写真

2.4 メモ帳

2.5 メール機能

2.6 メール設定方法.....P21

2.7 Windows操作.....P32

3. 応用.....P39

3.1 TOPメニュー画面配置変更

3.2 カスタム文字盤

3.3 コエステーション

3.4 LINE.....P50

3.5 リモコン機能(なんでもIR2連携)・・P54

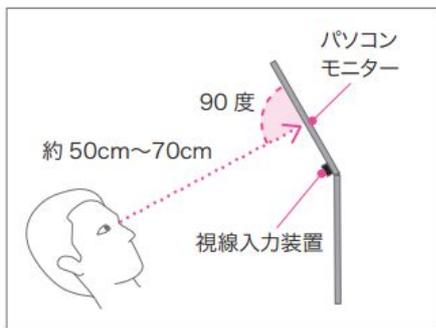
3.5 OriHimeをつなぐ(別売)

4.トラブルシューティング.....P59

1. 準備

1.1 設置

パソコン固定台を利用して、ご利用者様の目の前(約 50~70cm)にOriHime eye+switchを設置します。
横向きで寝ている場合はパソコン画面も横向きにします。
※日当たりがいい場合、カーテン等で対策してください。



■使い方動画
(視線入力編)



(スイッチ編)



①入力方法の確認

スイッチ

視線

②チューニング & 設定

スイッチ利用「設定」

キャリブレーション

スイッチの使い方

画面固定 or 透明文字盤

スイッチ利用「設定」

③メニューの利用方法

会話、写真、メール、Windows操作、
などの使い方

1.2 入力方法について

1 スイッチ入力モード



2 画面固定モード



3 デジタル透明文字盤



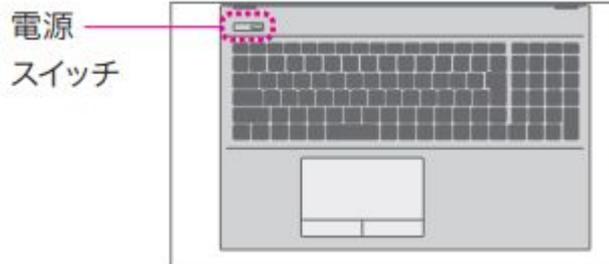
入力方法は3種類あります。
利用者様の状態に合わせて選んでみてください。

- ①スイッチ
- ②視線
- ③スイッチと視線(両方)

1.3 スイッチのみで入力する場合

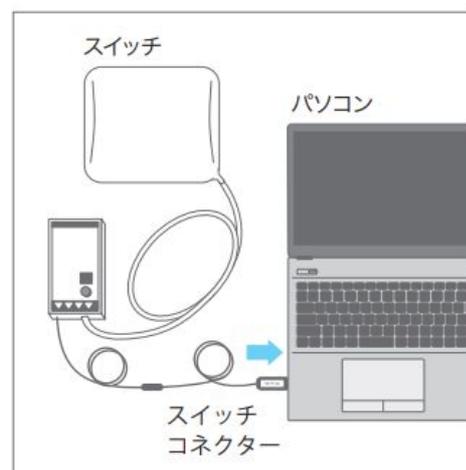
(1) PCの起動

(注意) 電源スイッチの位置はPCの型番により異なる場合があります。



(2) 使用するスイッチコネクターを接続

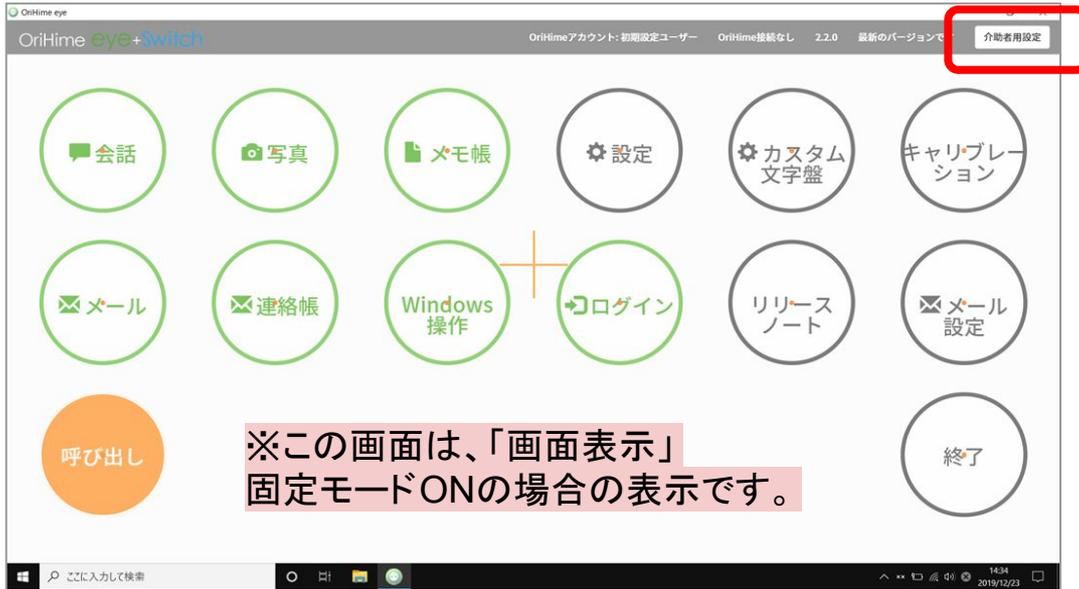
(3) スイッチコネクターをパソコンの USB ポートに接続



(4) 入力設定

電源を入れると自動で『OriHime eye+switch』が起動します。

「介助者用設定」メニューを選択します。



「設定」を選択します。



バーの移動スピードをここで→
変えることができます。

「はい」を選択します。



「保存」します。

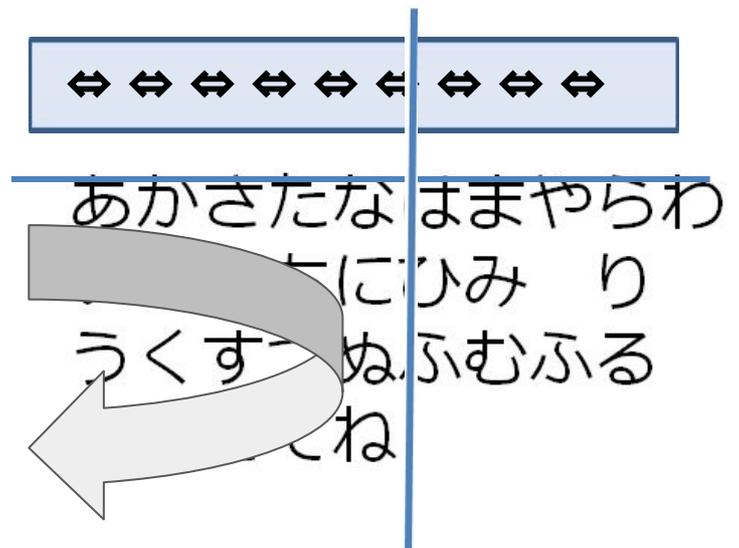
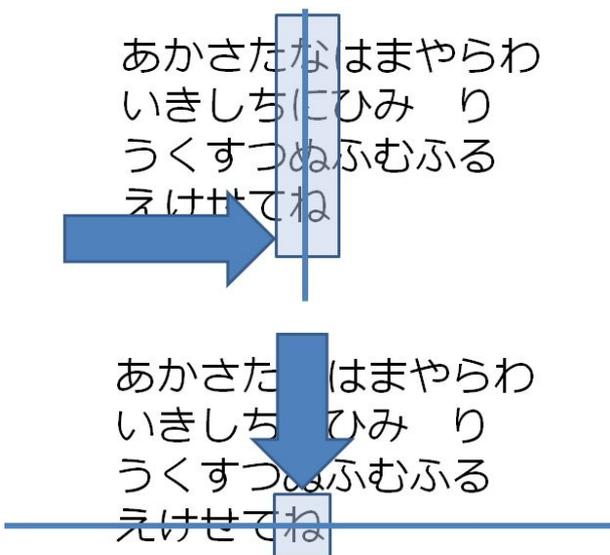


(5) スイッチ入力の使い方
【メニュー選択画面】
押した位置の色が付きます



【文字盤操作画面】
押した位置の色が付きます

行き過ぎて戻りたいときは、
 ⇄の行を選択するとスキャンの方法が
 逆方向になります



1.4 視線で入力する場合

(1) 視線入力装置の接続とPC起動

①視線入力装置 (tobii)をパソコンに接続する(USB接続)



②パソコンの電源を押す



③視線入力装置の赤いランプが点灯しているのを確認する



(2) キャリブレーション

PCの電源を入れると自動で『OriHime eye + switch』が起動します。
以下のいずれかを押してキャリブレーションを行います。

- ・「キャリブレーション」(ショートカット Ctrl+C)
- ・「介助者用設定」-「詳細キャリブレーション」を選択します。
(ショートカットキー F2)

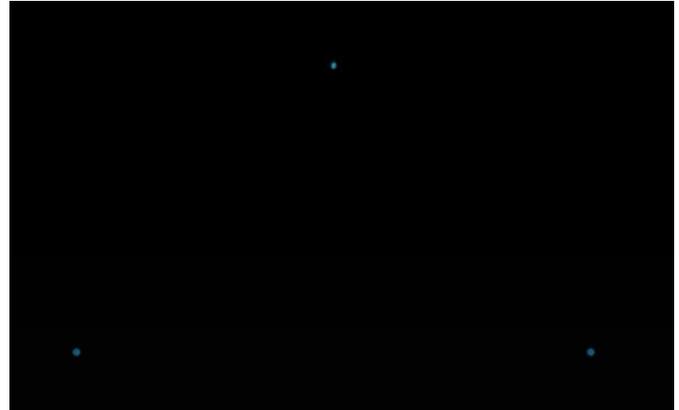


クイックキャリブレーション

①利用者の方に中央の○(ドット)が爆発するまで注視してください。



②次に3つの○が出てきます。3つが爆発するまで一つずつ注視してください。順番は関係ありません。



すべて爆発できたらキャリブレーション成功です。

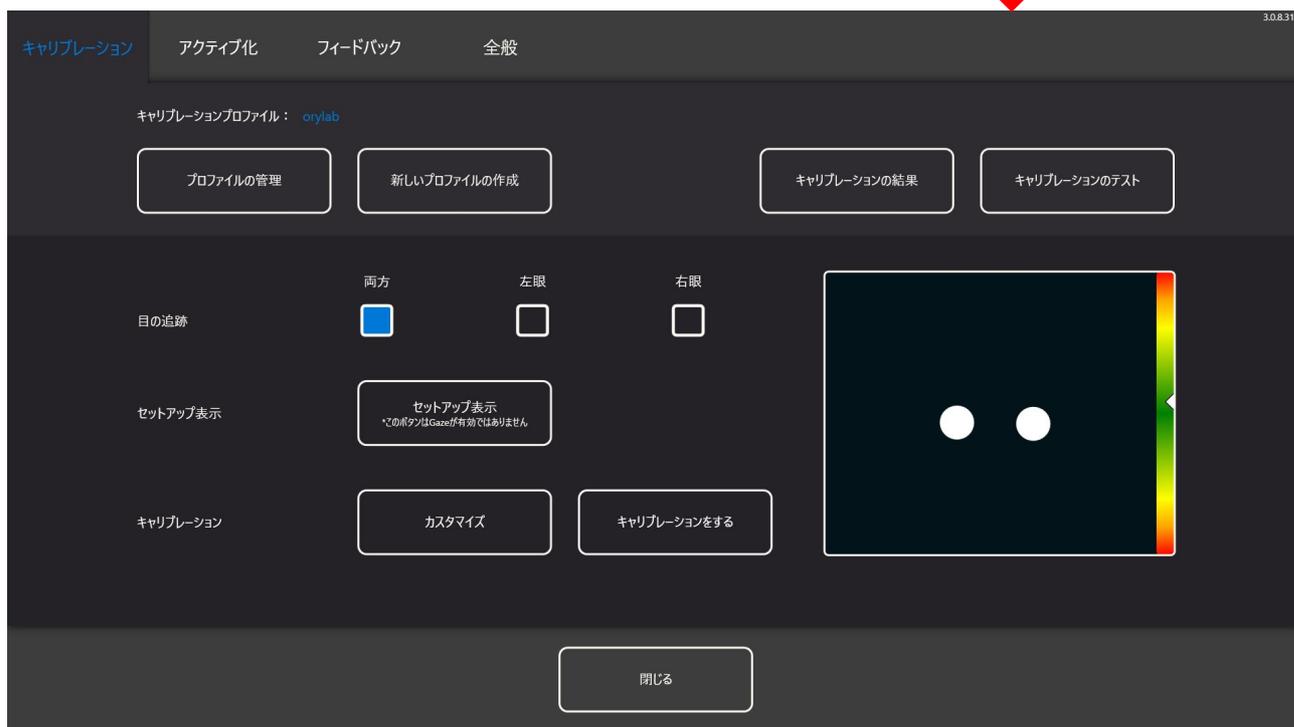
(3) 詳細キャリブレーション (PCEye5の場合)

より詳細なキャリブレーションを行うことができます。

1. 介助者設定画面から、「詳細キャリブレーション」をクリックします。

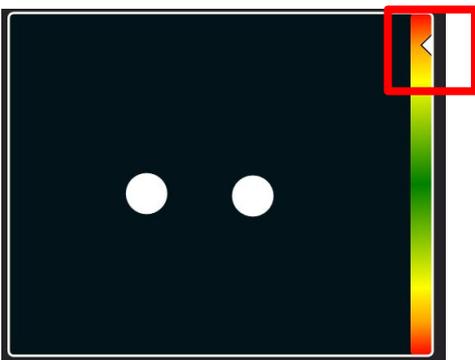


2. 詳細キャリブレーション画面へ遷移します。



■眼球とモニターの距離が適正なのか視覚で判別できます。

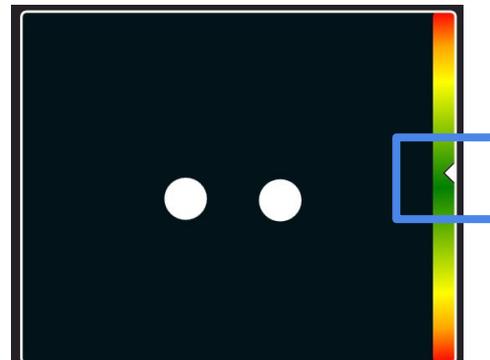
距離が近い



距離が遠い



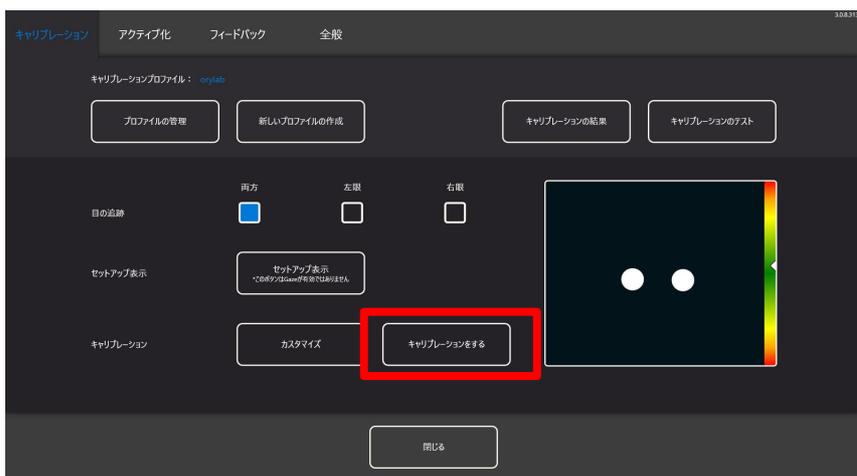
適正



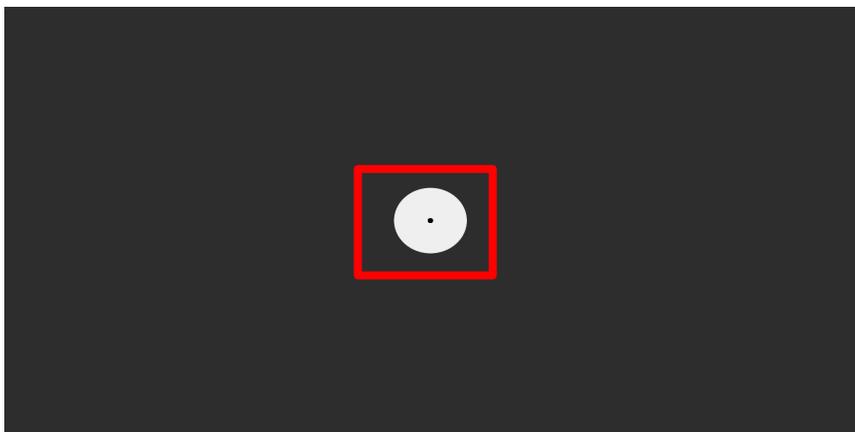
■目を隠すことなく片目でもキャリブレーションが行えます。



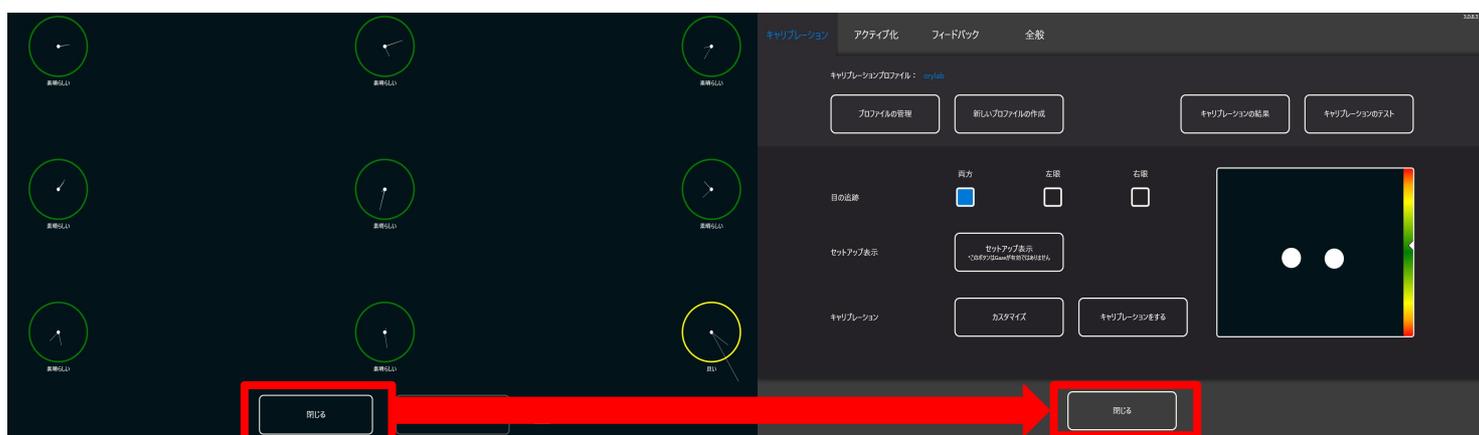
3.「キャリブレーションをする」を選択するとキャリブレーションがはじまります。



4.画面上に表示される「」が移動をするので最後まで目で追いかけてください。



5.キャリブレーションが終了したら『閉じる』を選択してください。



(4) 画面モードの選択

「介助者用設定」もしくは「設定」の「画面表示」で設定します。

固定モードON :画面固定モード

固定モードOFF :デジタル透明文字盤モード(視点で文字盤が動きます)



(5) [視線+スイッチ]で入力する場合の設定

「介助者用設定」もしくは「設定」の「スイッチ」で設定します。

視線で選びスイッチで決定する:はい

スイッチだけで操作する :いいえ



1.5 参考

全入力パターンの設定画面

「介助者用設定」メニューで入力方法ごとに以下の項目を設定します。

	スイッチのみ	スイッチ+視線 A画面固定	スイッチ+視線 Bデジタル透明 文字盤	視線A画面固 定モード	視線Bデジタル 透明文字盤
					
(画面表示) 固定モード		ON	OFF	ON	OFF
(スイッチ) 視線で選びス イッチで決定す る		はい	はい	いいえ	いいえ
(スイッチ) スイッチだけで 操作する	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

1.5 参考

視線入力のコツ

1. 目を見開かない。瞬きを意識して行うようにする。
⇒目を見開かなくても十分視線はひろいます。
目が乾かないように瞬きを意識しましょう。
『見つめ続ける』は、目を見開くことではありません。
2. 目をどこまで細めて視線をひろえるか試してみる
⇒細目で見て操作する癖をつけましょう。
3. ぼんやりと画面を見る
4. 瞬きを意識して行う
5. 首は動かさず、目だけ動かす事を心掛ける
6. 目標物だけを見るようにする
⇒移動している画面の情報の全てを目で追うと疲れてしまいます。
7. 直射日光が入る部屋はカーテンを閉める
8. 充血に注意する

2. 利用方法

2.1 起動画面の概要

「会話」

「デジタル透明文字盤」で文字の入力や合成音声による

発話ができ

ます。

「メール」

メールの送受信ができます。

「写真」

保存されている写真を表示できます。

「Windows操作」

視線やスイッチを使ってWindowsの設定やアプリの操作ができます。

「リモートOriHime」「近くのOriHime」

離れている場所にある分身ロボット OriHime がインターネットで接続されている場合に表示されます。



固定モードON時メニュー画面



固定モードOFF時メニュー画面

2.2 会話画面

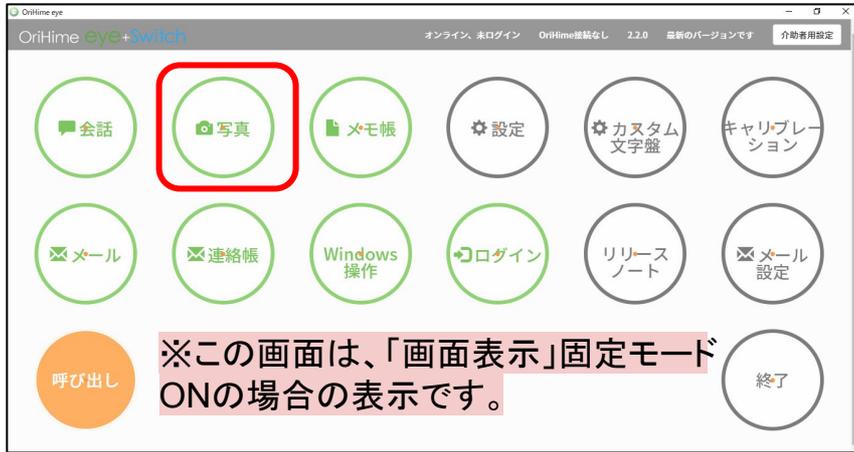
表示される文字盤を見て、選択することで文字を入力・発話することができます。利用方法は通常の透明文字盤と同様で、人間の代わりに機械が文字盤を動かしてくれていると考えていただければわかりやすいかと思います。



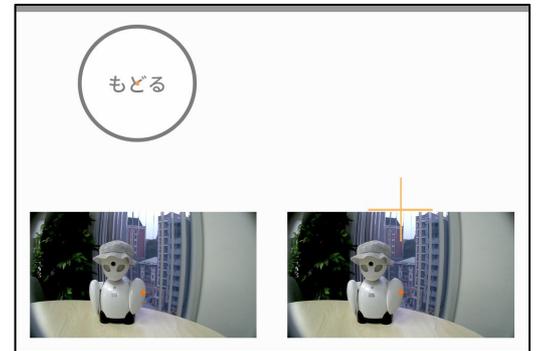
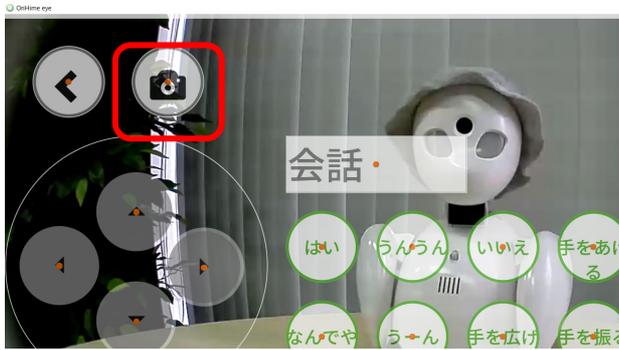
※この画面は、「画面表示」固定モード ONの場合の表示です。

- ①文字盤「平仮名」「英語」「身体部位」「履歴」「カスタム」に変えることができます。
- ②最初から登録されている単語です。※ここの単語は変更できません。
- ③打った文章を読み上げてくれます。
- ④保存を押すと打った文章をメモ帳に保存ができます。
- ⑤読み込みを押すと、メモ帳に入っている文書を会話で表示できます。
- ⑥利用者様の使い勝手に合わせた「カスタム文字盤」を作ることができます。
(P.46 カスタム文字盤参照)

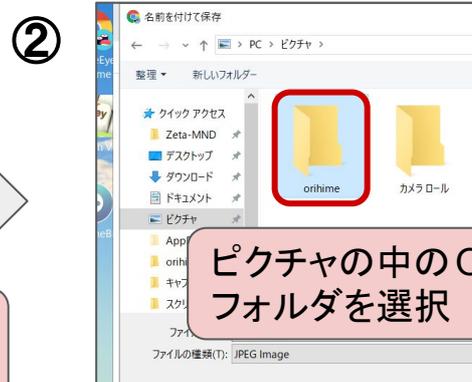
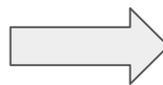
2.3 写真



(1) OriHimeロボットで撮った写真を保存できます

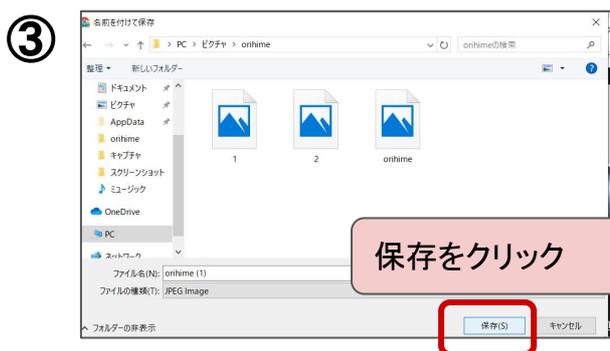


(2) ネットの画像も保存できます



ピクチャの中の OriHime フォルダを選択

画像の上で右クリックをし、
(名前をつけて画像を保存)をクリック

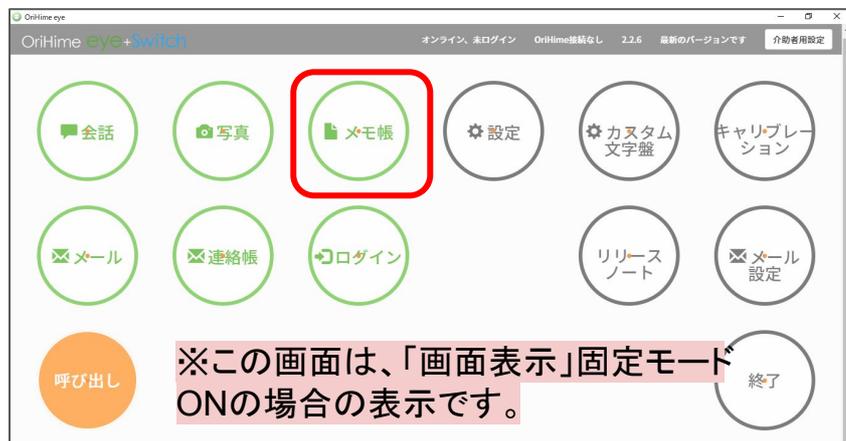


保存をクリック



OriHime eyeに画像
が入ります。

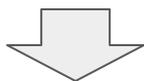
2.4 メモ帳



メモを新規作成する



メモの編集や読み上げができます。



2.5 メール機能、設定方法

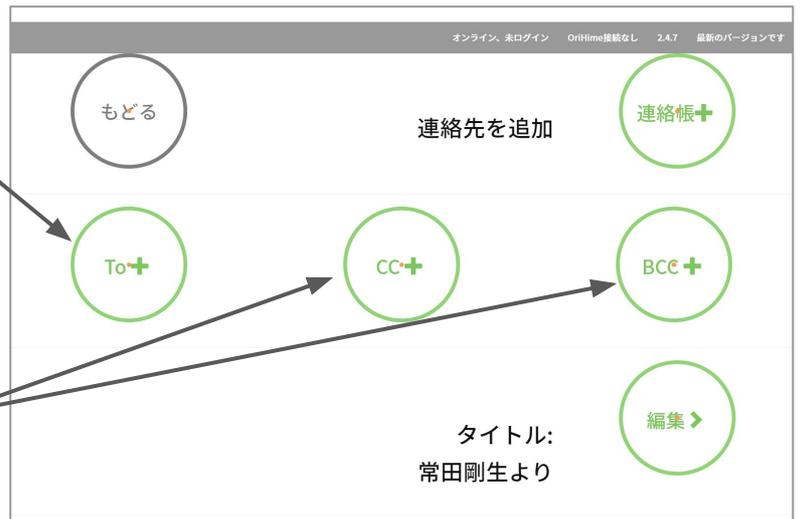
「メール」を押した画面です。(※メール設定の登録を先にお願ひします)



- 1 メールを確認することができます。
- 2 送信済みメールを確認することができます。
- 3 下書きのメールを確認することができます。
- 4 新しいメールを作成することができます。
- 5 メールを開封できます。
- 6 メールを開封できます。

Toには、送信したい相手を指定します。連絡帳の画面に移動し、その中でメールを送りたい相手を指定します。送りたい相手が連絡帳に入っていない場合、「連絡帳+」を押して新しい連絡先を追加します。

CCとBCCにはToと同時に送信したい相手を指定します。c.c.とb.c.c.の役割や違いは一般的なメールシステムと同様です。



【連絡帳の登録方法】

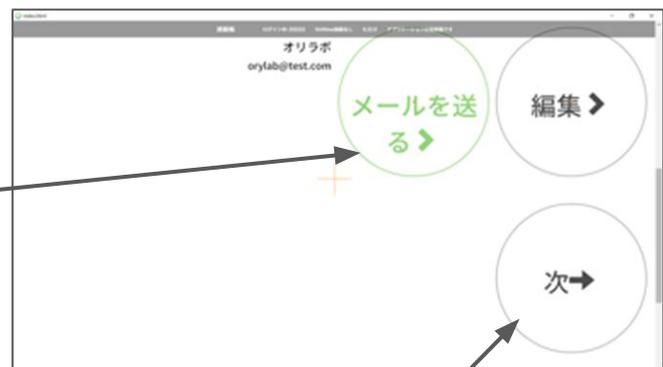
保存を押すと、入力した名前とメールアドレスを登録します。

この編集を押して、アドレス帳に登録したい相手の名前を入力します。

この編集を押してアドレス帳に登録したい相手のアドレスを入力します。



To, CC, Bcc クリックした後、この中からメールを送りたい相手を選び、メールを送るをクリックします。メール作成ページに移動し、新しいメールを作成することができます。



連絡帳に登録したメールアドレスが多数ある場合、次へを押して次の連絡帳ページに移行します。

「メール」画面です。(※メール設定の登録を先にお願ひします)



1

2

3

4

5

3

下書きフォルダに移動し、下書きのメールを確認することができます。

4

メール作成ページに移動し、新しいメールを作成することができます。

5

表示をクリックすると本文が見られます。削除をクリックするとメールを削除します。

1

受信箱に移動し、受け取っているメールを確認することができます。

2

送信済みフォルダに移動し、過去に送信したメールを確認することができます。

メールの本文です。
返信を押すと返信を作成するページに移動し、削除を押すとメールを削除します。



メールの作成画面です。
タイトルの編集を押すと、タイトル入力画面に、本文の入力を押すと本文入力画面に移行します。
送信を押すとメールを送信します。



タイトルや本文に情報を入力して送信を選択するとメールが送信されます。

2.6 メール設定方法

Gmailを利用するための設定手順

自身のGoogleアカウント(<https://myaccount.google.com/>)に移動する

■「セキュリティ」をクリック

Google アカウント

Google アカウントの検索

- ホーム
- 個人情報
- データとプライバシー
- セキュリティ**
- 情報共有と連絡先
- お支払いと定期購入
- Google アカウントについて

ようこそ、オリラボさん

Google サービスを便利にご利用いただけるよう、情報、プライバシー、セキュリティを管理できます。 [詳細](#)

プライバシーとカスタマイズ
Google アカウントのデータを確認し、Google の利便性をカスタマイズするために保存されるアクティビティを選択します

おすすめのセキュリティ対策があります
セキュリティ診断で、推奨される対応が見つかりました

■「2段階認証プロセス」をクリック

(クリック後に約1ページ分、下スクロールした位置にあります。)

Google へのログイン

- パスワード 前回の変更: 3月3日
- スマートフォンを使用してログイン オフ
- 2段階認証プロセス** オフ

Google による本人確認の方法
ログインしているのが本人であることを確認する場合や、アカウントで不審なアクティビティがあった場合に使用します

- 再設定用の電話番号 090-9014-7126
- 再設定用のメールアドレス tsuneta@orylab.com

■「使ってみる」をクリック

← 2段階認証プロセス



アカウントを2段階認証プロセスで保護する

Google アカウントにログインするたびに、パスワードと確認コードを入力する必要があります。[詳細](#)

 セキュリティをさらに強化する
パスワードと、スマートフォンに送信された一意の確認コードを入力します。

 不正使用を防止する
第三者はパスワードを入手しただけでは、あなたのアカウントにログインすることはできません。

[使ってみる](#)

■Googleアカウントのパスワードを入力して「次へ」をクリック

Google
オリラボ

アドレス @gmail.com ▾

続行するには、まず本人確認を行ってください

パスワードを入力

パスワードを表示します

パスワードをお忘れの場合 [次へ](#)

日本語 ▾ ヘルプ プライバシー 規約

■「有効にする」をクリック

← 2段階認証プロセス



確認が完了しました。2段階認証プロセスを有効にしますか？

2段階認証プロセスの仕組みは以上です。お使いの Google アカウント orylabtar@gmail.com で 2段階認証プロセスを有効にしますか？

手順 3 / 3

有効にする

■「←」をクリック

← 2段階認証プロセス

2段階認証プロセスは 2022/03/14より有効になっています

オフにする

利用できる 2つ目の手順

パスワードの入力後、2つ目の手順によって、ご自身のログインであることを確認できます。[詳細](#)
注: 2段階認証プロセスのもう1つの方法として、対象スマートフォンで Google アカウントにログインした場合に Google からのメッセージが利用できるようになります。

音声またはテキストメッセージ (デフォルト) ⓘ

電話番号 確認済み

確認コードはテキストメッセージで送信されます。

- 「アプリパスワード」をクリック。
(クリック後に約1ページ分、下にスクロールする位置にあります。)



- Googleアカウントのパスワードを入力して「次へ」をクリック。



- 「アプリを選択」を「メール」に、「デバイスを選択」を「Windowsパソコン」を選択して「生成」をクリック。

← アプリパスワード

アプリパスワードを使用すると、2段階認証プロセスに対応していないデバイス上のアプリから Google アカウントにログインできるようになります。このパスワードは一度入力すれば、以降は覚えておく必要はありません。 [詳細](#)

アプリパスワードがありません。

アプリパスワードを生成するアプリとデバイスを選択してください。

アプリを選択 ▼	デバイスを選択 ▼
メール ▼	Windows パソコン ▼

生成

生成

■16桁のアプリパスワードを控える

生成されたアプリパスワード

Windows パソコンのアプリパスワード

使い方

1. [メール] アプリを開きます。
2. [設定] メニューを開きます。
3. [アカウント] を選択し、Google アカウントを選択します。
4. パスワードを上に表示されている 16 文字のパスワードに置き換えます。

このアプリパスワードは、通常のパスワードと同様に Google アカウントへの完全なアクセス権が付与されます。このパスワードを覚えておく必要はないので、メモしたり誰かと共有したりしないでください。 [詳細](#)

完了

- 16桁のアプリパスワードを OriHime eye+switchに入力します。
「介助者設定」をクリック。



- 「メール設定」をクリック。



- 控えた16桁のパスワードをパスワード欄に入力(スペースは不要)して「テスト」をクリック

名前 | 例: 織姫 花子

Eメールアドレス | アドレス | @gmail.com

受信サーバ | pop.gmail.com

受信サーバ ポート番号 | 995

送信サーバ | smtp.gmail.com

送信サーバ ポート番号 | 465

ユーザ名 | orylabtar@gmail.com
④省略時はメールアドレスをユーザ名として用います

パスワード |

SSL / TLS | ON OFF

署名設定 |

保存 | テスト

- * 名前: 任意
- * Eメールアドレス: Googleアカウント作成時に設定したメールアドレス
- * 受信サーバ: pop.gmail.com
- * 送信サーバ: smtp.gmail.com
- * 受信サーバポート番号: 【995】
- * 送信サーバポート番号: 【465】
- * ユーザ名: Googleアカウント作成時に設定したユーザ名
- * パスワード: **前項で生成された16桁のパスワード(スペース不要)**
- * SSL / TLS: ON

■テスト結果が全て



が表示されていることを確認したら「保存」を

クリックして終了

保存

再テスト

テスト結果

受信サーバー

- ✓ サーバーへの接続
- ✓ サーバーへの認証

送信サーバー

- ✓ サーバーへの接続
- ✓ サーバーへの認証

以上で、2段階認証の設定は終了です。

【Yahooメールの場合】

① <https://account.edit.yahoo.co.jp/registration> にアクセスしアカウントを作成する



作成したアカウントを OriHime eye に設定する
介助者用設定(視線ではクリックできません)からメール設定いただくことを推奨しております。



③ 設定をする
(設定項目は次ページに記載あり)

- * 名前: 任意
- * Eメールアドレス: Yahooアカウント作成時に設定したメールアドレス
- * 受信サーバ: pop.mail.yahoo.co.jp
- * 送信サーバ: smtp.mail.yahoo.co.jp
- * 受信サーバポート番号: 【995】
- * 送信サーバポート番号: 【465】
- * ユーザ名: Yahooアカウント作成時に設定したユーザ名
- * パスワード: Yahooアカウント作成時に設定したパスワード
- * SSL / TLS: ON

The screenshot shows a configuration form with the following fields:

- 送信サーバ: smtp.gmail.com
- 送信サーバ ポート番号: 465
- ユーザ名: nalayama
- パスワード: (empty)
- SSL / TLS: ON OFF

At the bottom, there are two buttons: a green '保存' (Save) button and a grey 'テスト' (Test) button. The 'テスト' button is highlighted with a red rectangular border. A green callout box points to the 'テスト' button with the text: "全て入力した後、「テスト」を押して、合っているか確認することができます。"

テスト結果

受信サーバー

- ✓ サーバーへの接続
- ✓ サーバーへの認証

送信サーバー

- ✓ サーバーへの接続
- ✓ サーバーへの認証

テスト結果が全てクリアされていれば送受信ができます。

テスト結果

受信サーバー

- ✓ サーバーへの接続
- ✓ サーバーへの認証

送信サーバー

- ✗ サーバーへの接続
- サーバーへの認証

テスト結果で赤く✗が出た場合は、どこか間違っているため、再度確認してください。

一字でも間違えてしまうと正常にメールの送受信ができなくなるため、入力後ご確認をお願いします。

2.7 Windows操作

メニュー画面『Windows操作』を押すことで開始します。



※この画面は、画面表示固定モードONの場合の表示です。

Windows操作を開くと、画面右側にメニューが表示されます。

①左クリック

②ダブルクリック

③画面を下にスクロール

④画面を縮小

⑤OriHime eyeの会話ボタンのようなキーボード

⑥会話画面

⑦Windows操作を終了する



⑧右クリック

⑨ドラッグ & ドロップ

⑩画面を上スクロール

⑪画面を拡大

⑫PCのキーボード

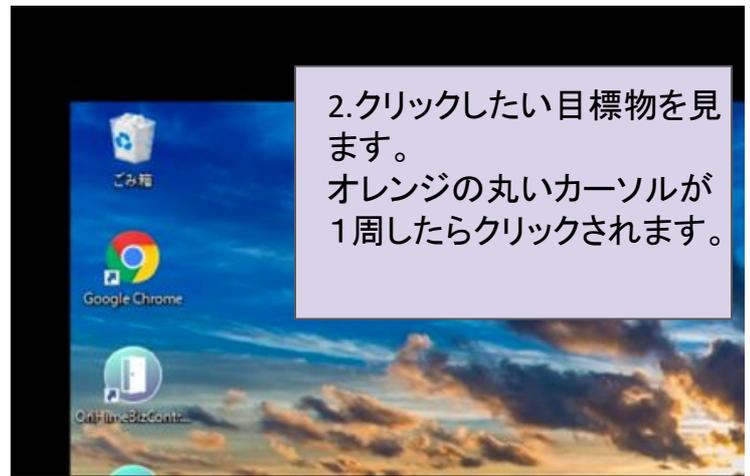
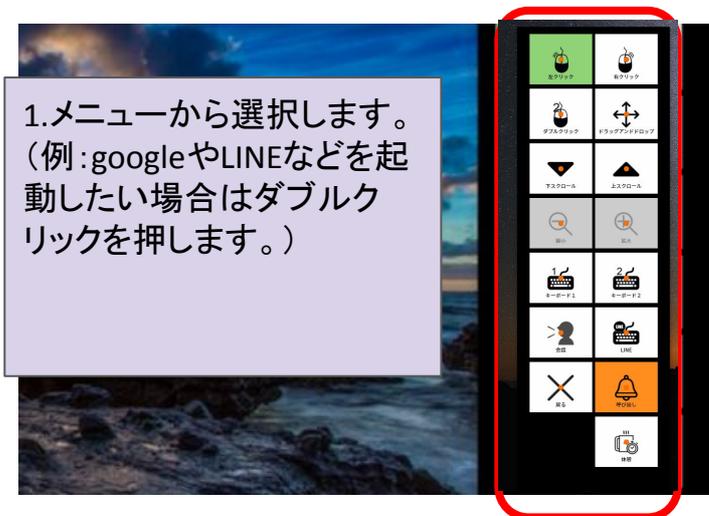
⑬LINEキーボード

⑭呼び出し音が鳴る

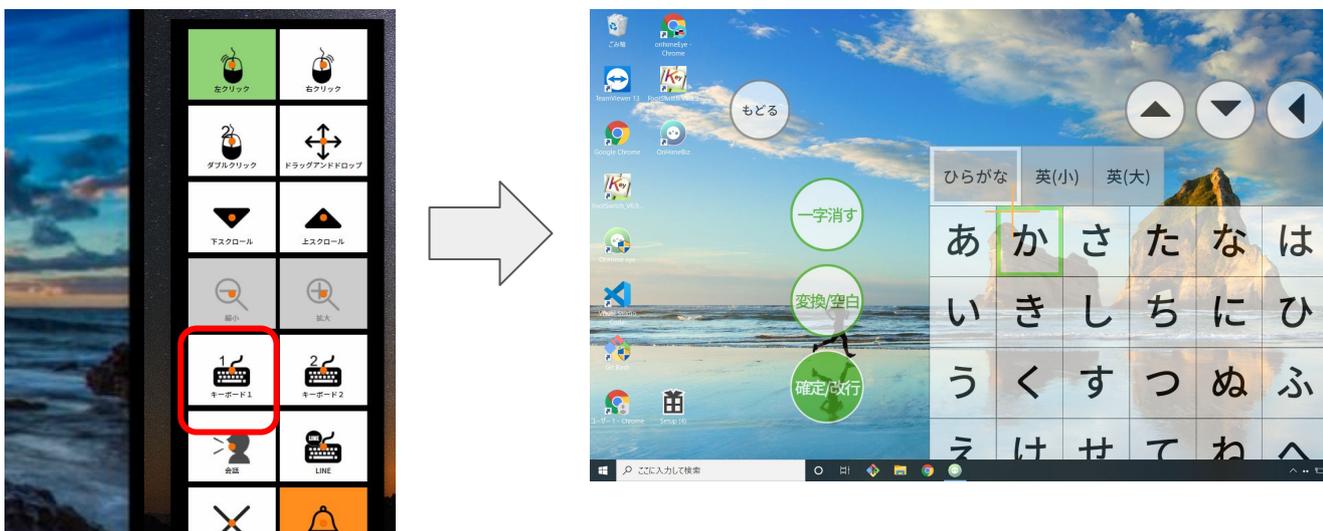
⑮休憩

Windows固定モードをOFFにした場合

デジタル透明文字盤と同じ仕様でクリックしたい目標物を見に行くと、目標物が寄ってくる仕様になっています。



文字を打ちたい時は、右のメニューにある「キーボード1」をクリックします。
クリックすると、文字盤がでてきます。
文字盤の入力方法は会話画面と同じです。



文字を入力したい場合は、「入力位置指定」をおして、文字を打ちたいところにカーソルを置きます。



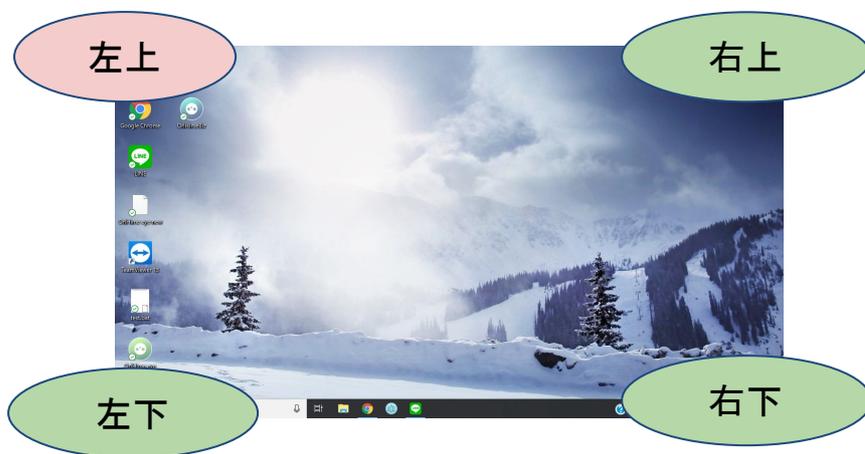
全画面にしたい場合は、方法1、方法2どちらでも全画面にすることができます。

【方法1】

動いているデスクトップの左上を数秒見ると、『全画面』になります。

※この際、メニューは表示されなくなります。

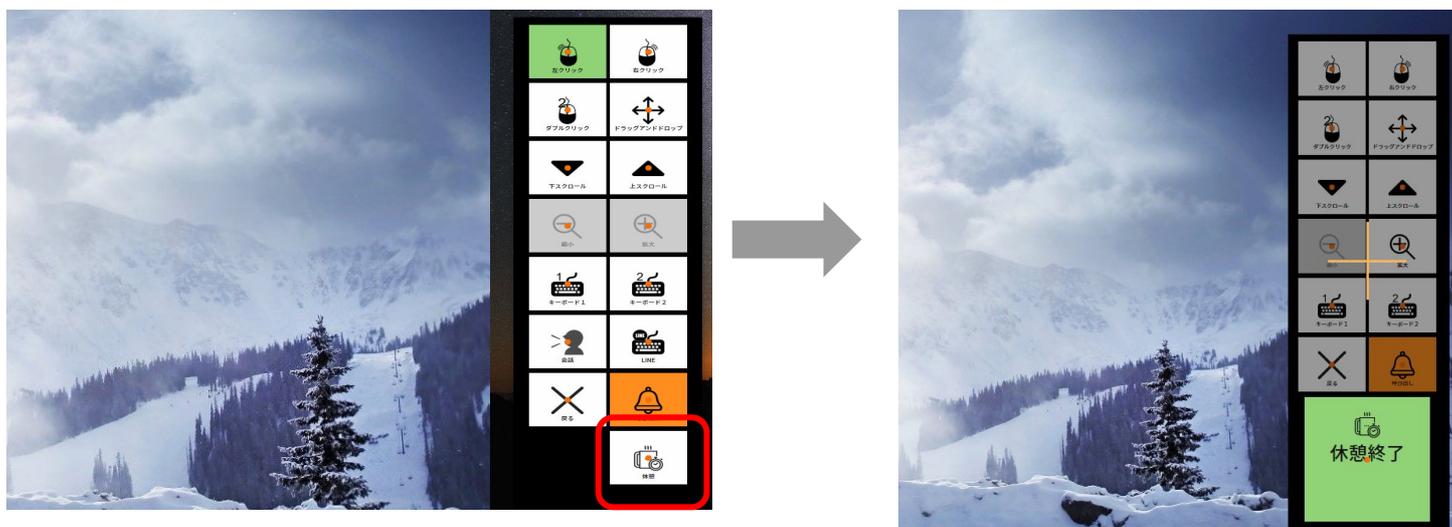
全画面でweb閲覧中に下にスライドさせたい場合は 画面下・中央 を数秒見ます。
全画面でweb閲覧中に上にスライドさせたい場合は 画面上・中央 を数秒見ます。



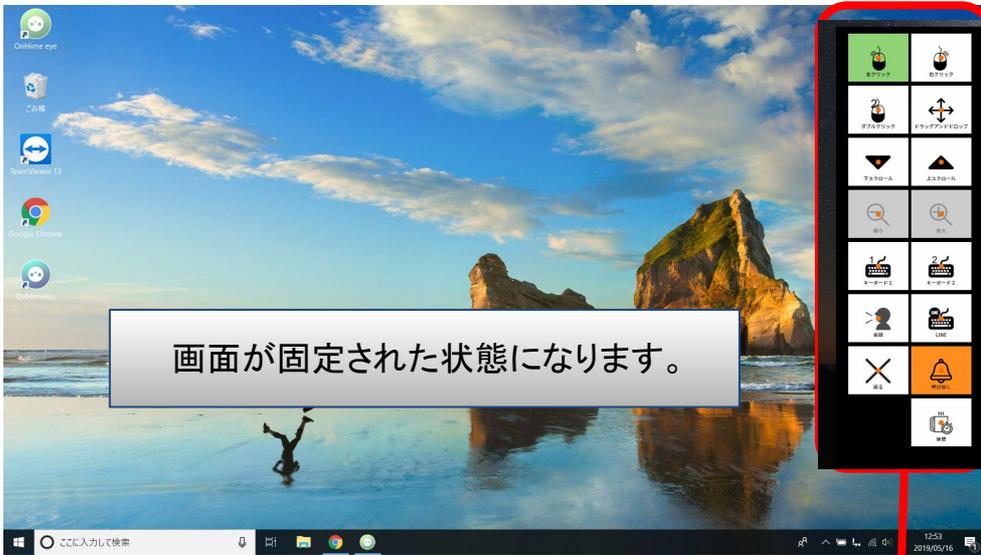
デスクトップが動くモードに戻したい場合は右上・右下・左下の3カ所のいずれか一カ所を数秒見ます。

【方法2】

メニューの休憩ボタンをクリックすると、『全画面』になります。

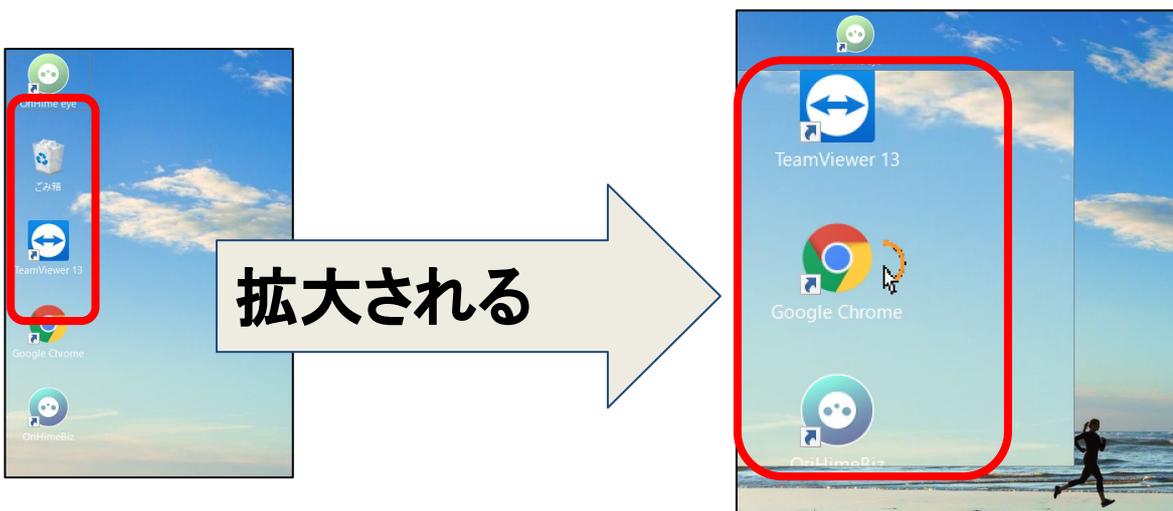


Windows固定モードをONにした場合

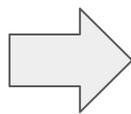


1.メニューから選択します。
(例:googleやLINEなどを起動したい場合は
ダブルクリックを押します。)

2.目標物を見た周辺がが拡大されます。オレンジの丸いカーソルが 1周したらクリックされます。



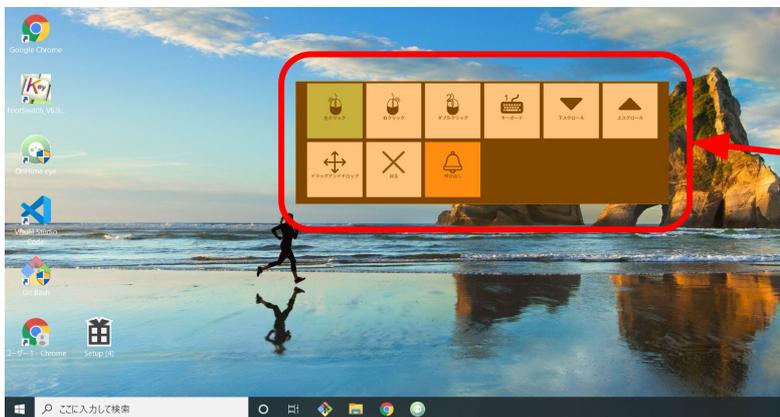
文字を打ちたい時は、右のメニューにある「キーボード1」をクリックします。
 クリックすると、文字盤がでてきます。
 文字盤の入力方法は会話画面と同じです。



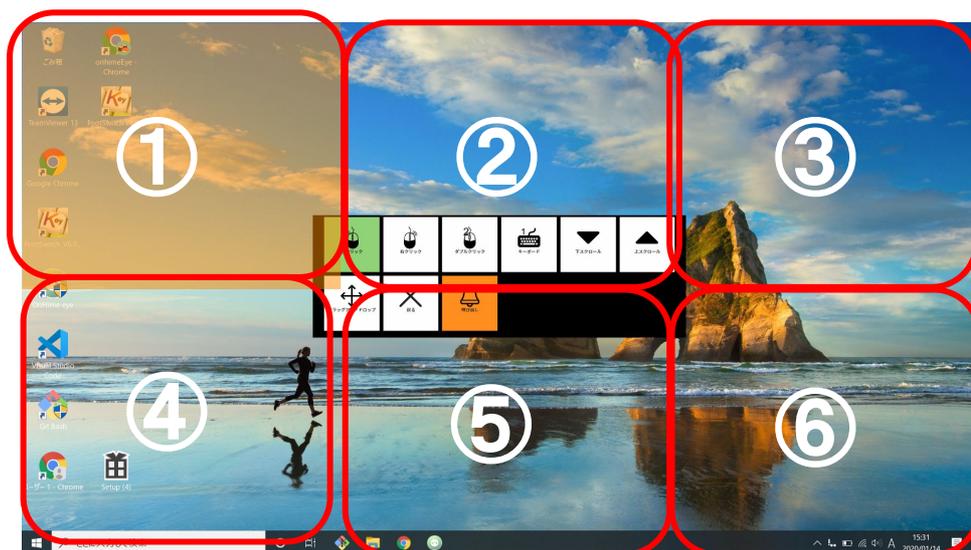
文字を入力したい場合は、「入力位置指定」をおして、文字を打ちたいところにカーソルを置きます。



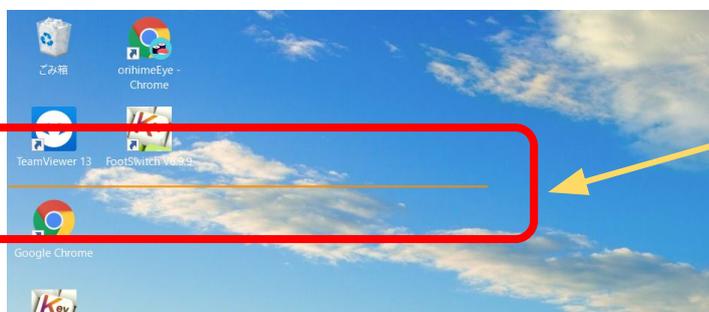
スイッチだけで操作する場合



1.メニューから選択します。
(googleやLINEなどの起動時はダブルクリック選択します。)



2.①～⑥の6か所から
目標物がある箇所を選択します。
(例: Googleを開きたい
場合は、①をクリックする)



3.オレンジのバーで上下の選択
します。

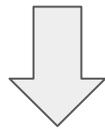
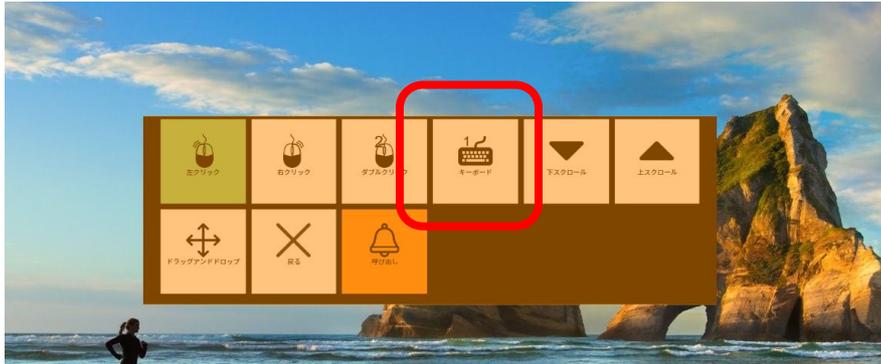


4.カーソルで左右
を選択します。



5.目標物が開きます。

文字を打ちたい時は、右のメニューにある「キーボード1」をクリックします。
クリックすると、文字盤がでてきます。
文字盤の入力方法は会話画面と同じです。



3.応用

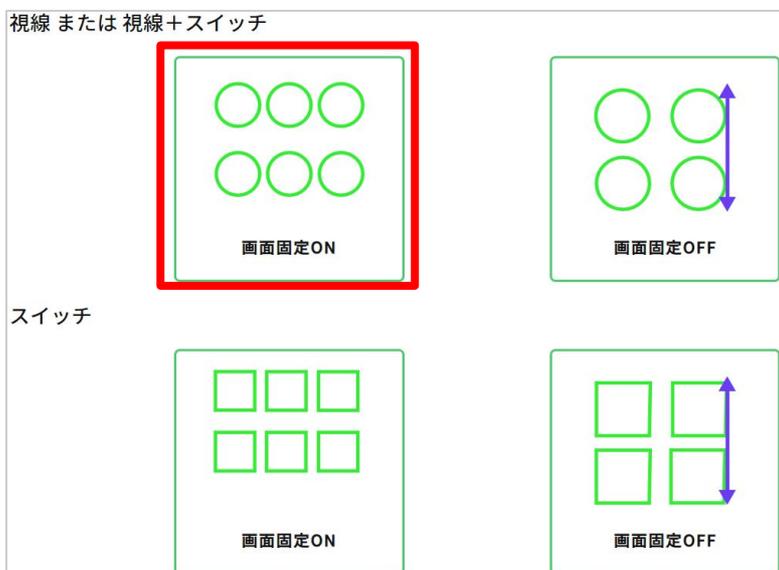
3.1 TOPメニュー配置変更機能

メニュー画面のボタンの大きさを3パターン(「2✖2」「4✖2」「6✖3」)から選択し、かつ自由にボタンの配置場所を変更できます。

1.介助者設定画面から『TOPメニューの配置を変更する』をクリックします



2.編集するメニューのモードを選択します



3.メニュー画面のボタンの大きさを3パターン(「2×2」「4×2」「6×3」)から選択します。

■「6×3」の場合

2×2 4×2 **6×3**



■「2×2」の場合

2×2 4×2 6×3

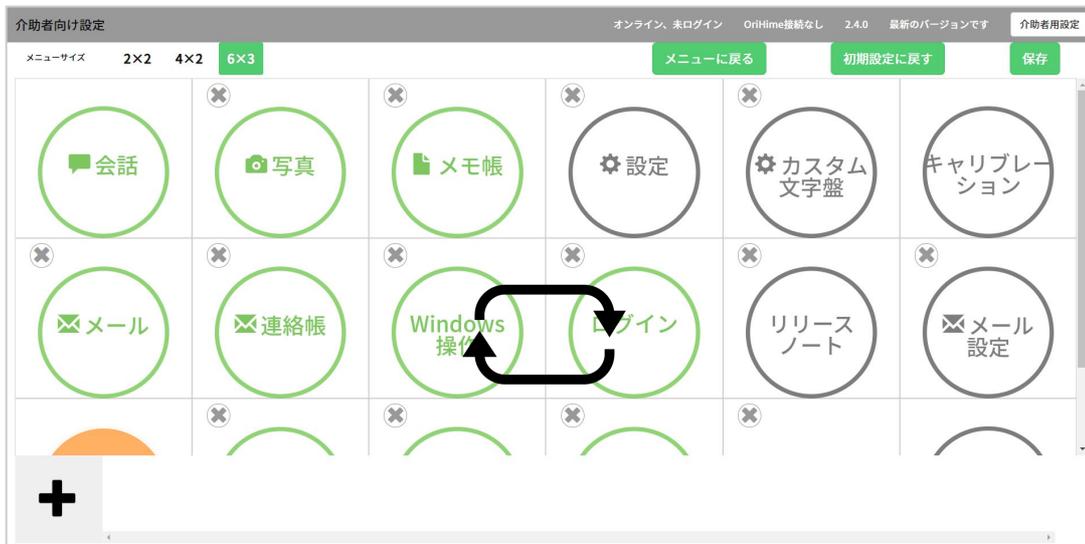


■「4×2」の場合

2×2 **4×2** 6×3



4. 各ボタンをドラッグ & ドロップで自由に配置換えできます。



■ドラッグ時



■ドロップ後



5.各ボタンの左上



左をクリックすると画面下部スペースに移動します。



6.一度メニューから削除したボタンをクリックするとメニュー画面に戻すことができます。



7.画面左下の「+」を左クリックするとメニュー上にスペースを配置することができます。(表示限度数による)



8. 最後、『保存』を選択して終了です。

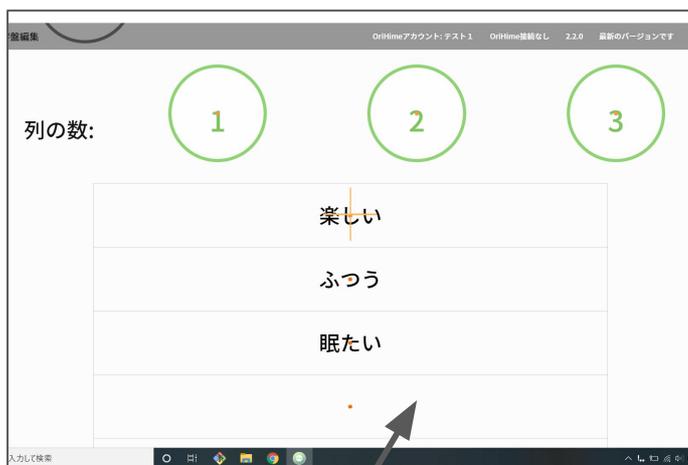


3.2 カスタム文字盤

登録しておきたい文字や文章をカスタム文字盤で登録できます。
登録したものは「会話」のカスタムのタブでご利用できます。



1. カスタム文字盤をクリックします。
※この画面は、「画面表示」固定モードONの場合の表示です。



2. 空欄をクリック



3. 単語・文章を入力し、「決定」ボタンを選択



4. カスタムのタブをクリックすると、登録した単語・文章が表示します。

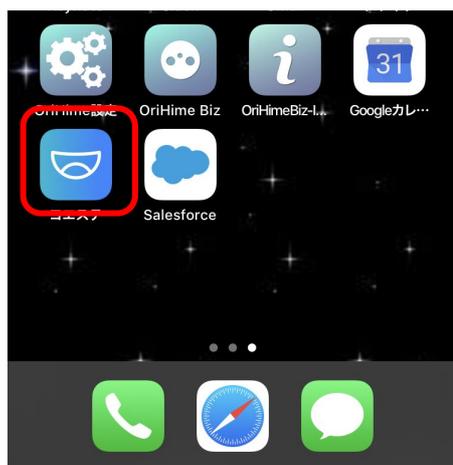


3.3 コエステーション機能について

自身の声をコエステーションで録音しておけば、無料で OriHime eye+switchIに搭載することができます。

※コエステーション機能を利用するには、インターネットの環境が必要です。

①App storeより「コエステーション」と検索いただき、アプリをダウンロード



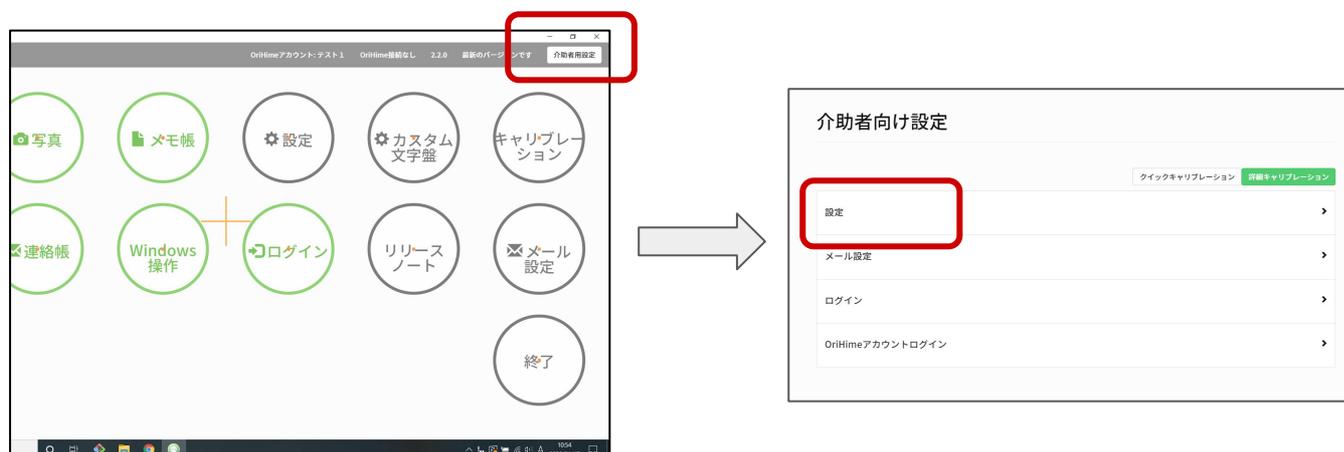
※iPhone、iPadの画面です。
OriHime eye+switchの画面ではありません。

②コエステーションアプリから自分の声を録音する手順については、コエステーションアプリの説明をご参照ください。

→QRコードより、手順の確認ができます。



OriHime eyeの設定にうつります。



④「音声」の設定を変更します。



coestation にチェックをいれる

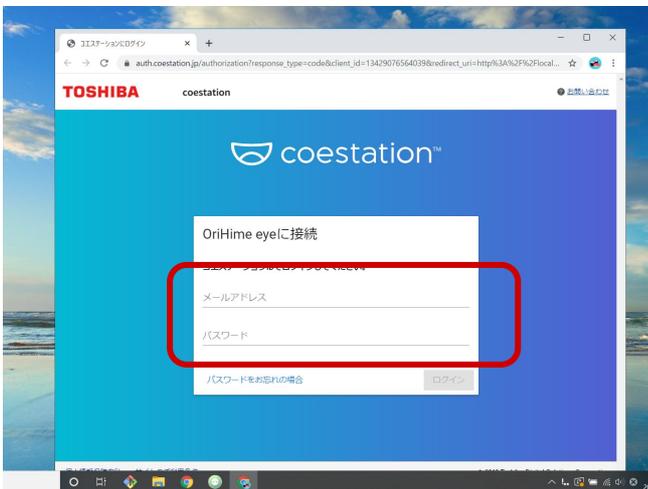
声の種類を

- ・女性1~3
 - ・男性1~3
 - ・ご自身の声
- から選択することができます。

ご自身の声を設定する場合は、「coestationと連携する」をクリックしてください。

※OriHime eye+switchがインターネット環境になっているか、確認してください。

⑤自身の声を設定する場合は「coestationと連携する」をクリック



クリックするとcoestationのブラウザが立ち上がるので、アプリで登録した

- ・メールアドレス
- ・パスワード

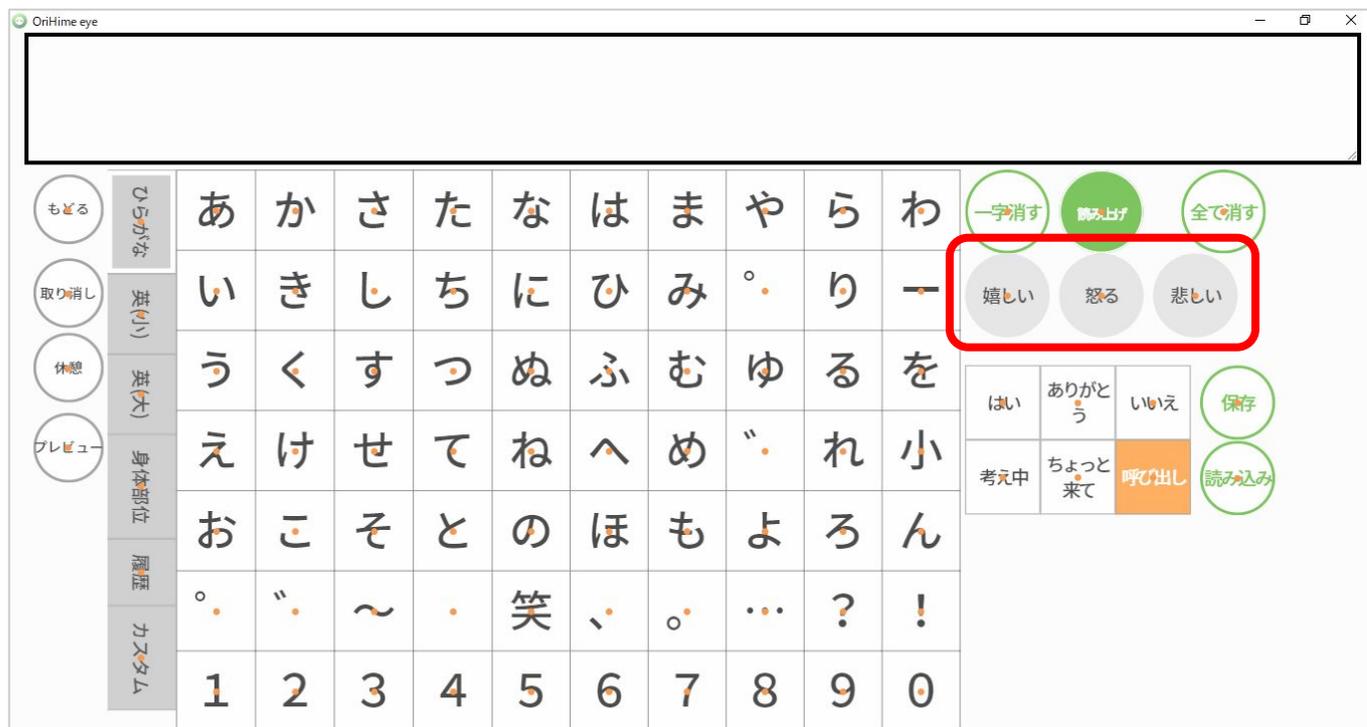
を入力してログインをしてください

【補足】

コエステーション詳細設定ページをクリックすると、音声の速度や高さ、太さをカスタムすることができます。



コエステーション使用画面



の感情表現ボタンが表示します。

上記ボタン選択後に、



を選ぶと、抑揚をつけて読み上げます。

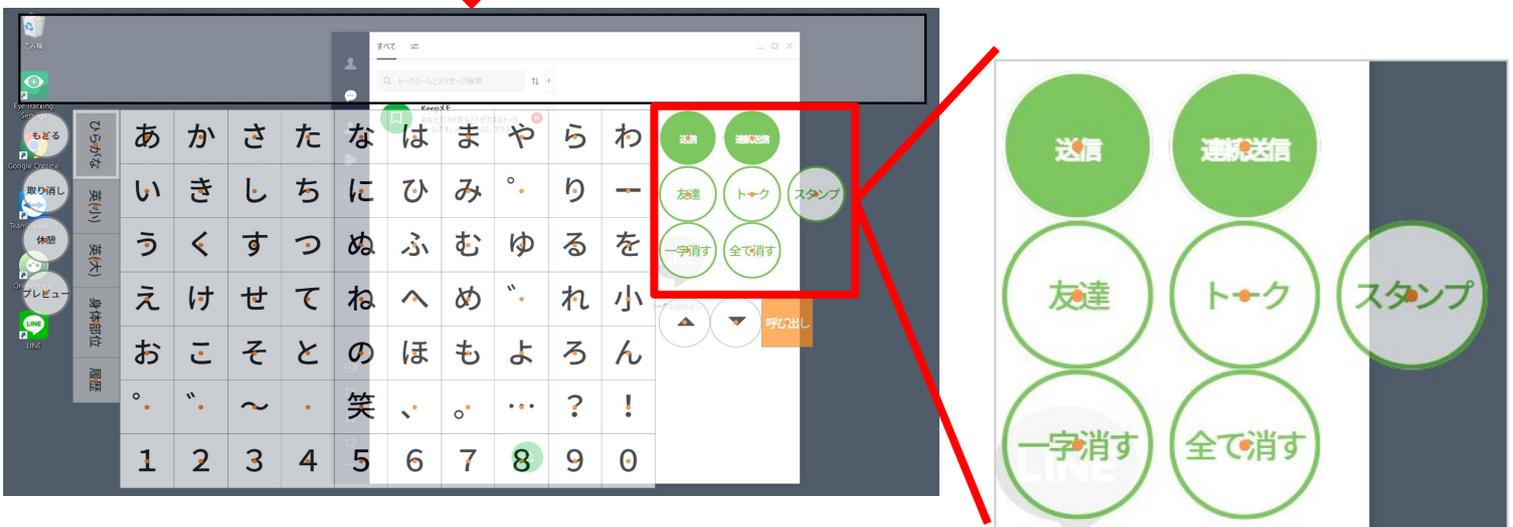
3.4 LINE機能

PC版LINEをインストールすると、メニュー画面内に「LINE」ボタンが配置されます。

1.TOPメニュー画面「LINE」ボタンを選択するとLINEキーボードとLINEアプリが起動され、メッセージ送信ができます。



■LINEキーボード画面

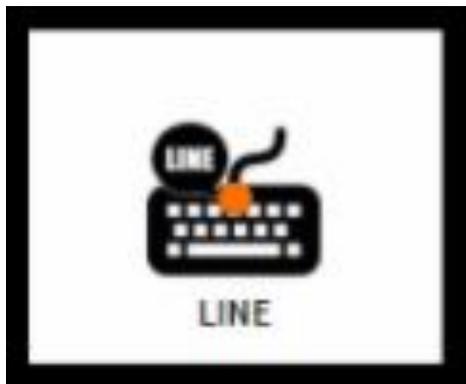
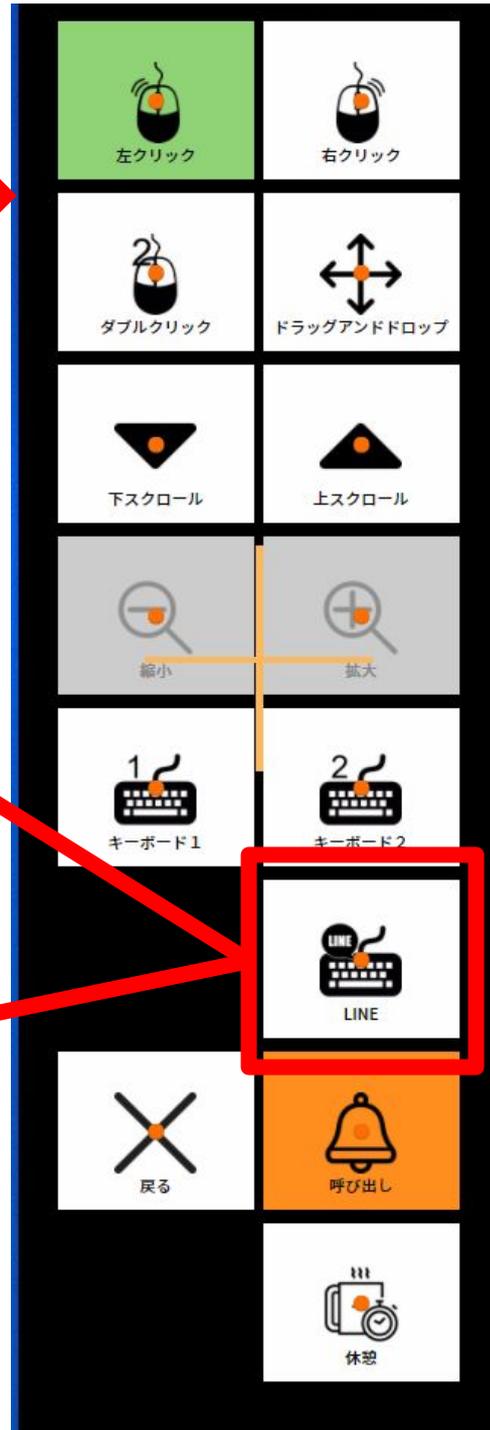


Windows操作画面内コマンド画面上にも「LINE」ボタンが配置されます。
選択するとLINEキーボードが起動します。

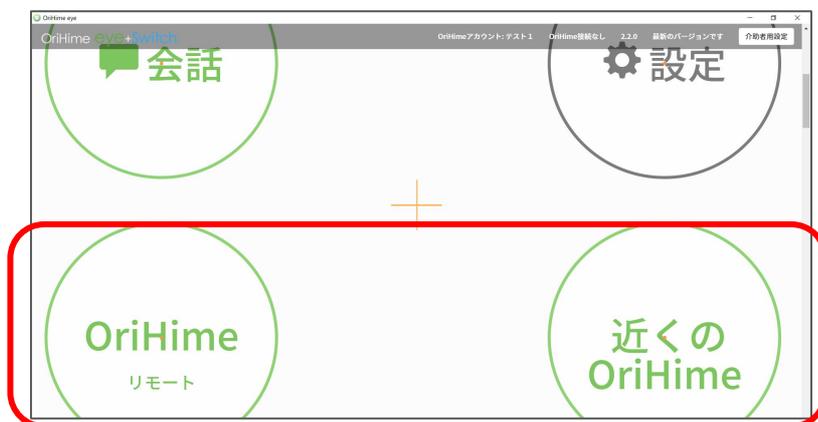
■Windows操作ボタン



■Windows操作画面内
コマンド画面



3.5 OriHimeを操作する(OriHimeロボットがある場合のみ)



「OriHimeリモート」

→遠隔でOriHimeを操作する際にご利用ください

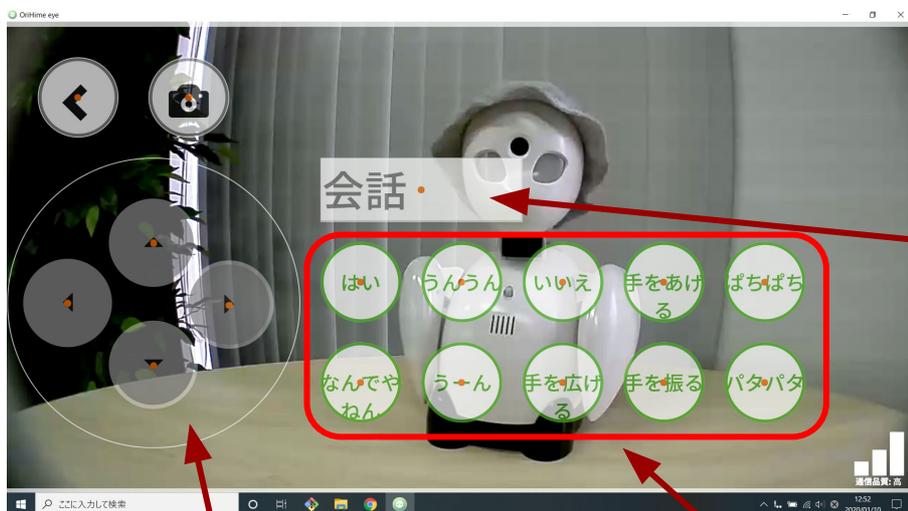
「近くのOriHime」

→OriHimeがOriHime eyeの近くにある場合は、こちらをご利用ください

(※ハウリングが起こらなくなります)

OriHimeが正常に設定されていると表示されます。

「OriHimeリモート」もしくは「近くの OriHime」を押した画面です。

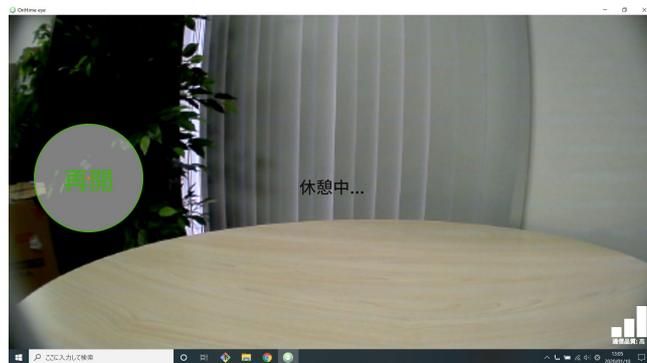


発話ができます。

上下左右の矢印を押すとOriHimeの頭が動き、動いた先を映し出します。

ジェスチャーを行います。

30秒間操作・視線移動がないと自動的に一旦全ての入力を中断する「休憩」モードに入ります。
視線を動かしてもOriHimeを動かしたくない時や、疲れた時はこのモードにすることで目を休めることができます。
「休憩」モードは再開を見つめ続けることで解除できます。



3.6リモコン機能(なんでも IR2連携)

テクノツール製「なんでも IR2」を利用する事で、OriHime eye+switchの画面上でリモコン操作を行うことができます。

■メニュー画面



なんでもIRのドライバおよびソフトウェアをインストールします。
(<https://ttools.co.jp/product/hand/ircenter/download.html>)



インストールするとデスクトップに上記アイコンが表示されます

なんでもIR2 / なんでもIR

製品概要 ダウンロード Q & A

デバイスドライバとソフトウェアのダウンロード

「なんでもIR2」および「なんでもIR(※)」のUSBデバイスドライバおよびアプリケーション・ソフトウェアの最新版です。
※このバージョンは、旧モデルの「なんでもIR」本体にも対応しています。

- ※Microsoft SQ1及びSQ2などARM製CPUでは動作しません。(※詳細はお知らせをご参照ください。)

対応製品

対応製品	なんでもIR2 なんでもIR
型番	TIRRA-xx

「なんでもIR」デバイスドライバとソフトウェアのダウンロード

ダウンロード

ファイル名: TIRRA-A01-F7.exe
ファイルサイズ: 25.9 MB
update: 2014/10/14
対応OS: Windows 7(SP1) / 8.1 / 10
※ Windows 8.1/10 ではデスクトップ・アプリケーションとして動作します。

【ご注意】インストールの開始時に「使用許諾契約」確認画面が表示されます。よくお読みいただき、同意いただける場合のみインストールを行ってください。

なんでもIR2をOriHime eye+switchに接続します。

■接続イメージ



なんでもIR2に登録させたいリモコンを用意します。
リモコン設定作業を行います。

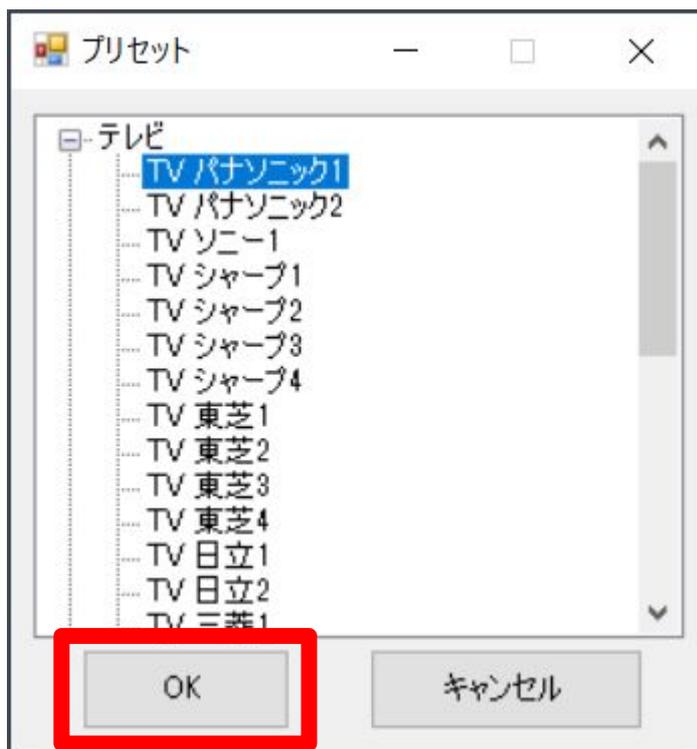
「介助者用設定」をクリック⇒リモコン設定をクリック

A screenshot of the OriHime eye+switch web interface. The page title is '介助者向け設定' (Caregiver Settings). The top navigation bar includes '介助者向け設定', 'オンライン、未ログイン', 'OriHime接続なし', '2.4.6', '最新のバージョンです', and '介助者用設定' (highlighted with a red box). The main content area has a '< もどる' (Back) button and two tabs: 'クイックキャリブレーション' (Quick Calibration) and '詳細キャリブレーション' (Detailed Calibration). Below the tabs is a list of settings with right-pointing arrows: '設定', 'メール設定', 'ログイン', 'OriHimeアカウントログイン', 'TOPメニューの配置を変更する', and 'リモコン設定' (highlighted with a red box).

リモコン設定画面が立ち上がります。
「プリセットから作成」をクリックしてください。



適当なプリセットを選択して「OK」を選択してください。



プリセットデータが各ボタンに配置されます。送信テストを押して動作を確認してください。問題なければ「保存」を押します。



プリセットにないデータは手作業で作成します。

①「+」をクリックすると、「新しいリモコン」が作成されます。

「新しいリモコン」欄に適切な情報を入力してください。

②～⑤の作業を繰り返し、必要なボタンを配置してください。

②空欄のボタンをクリック。

③「ボタン名」に情報を入力。

④リモコンの送信部になんでも IR の受信部分を近づけて「赤外線学習」をクリック

⑤「詳細情報」欄に情報が入力されたか確認

⑥「保存」をクリック。

⑦右上の「✕」をクリックして画面を閉じます。



メニュー画面に戻り、「リモコン」を選択すると保存したデータが実装されます。



トラブルシューティング

■視線入力で目を疲れにくくするコツ

目を見開かない。瞬きを多めに意識して行うようにする。

⇒目を見開かなくても薄目の状態で十分視線入力が可能となっています。

『見つめ続ける』は、眼球の動作を行わない状態(まばたき可)をさせております。目を見開かなくても、薄目で操作することが可能です。

目をどこまで細めて視線をひろえるか試してみる

⇒少し細目で見てみてそれでも視線をひろえたらベストです。

目が乾かないように瞬きを意識しましょう。

首は動かさず、目だけ動かす事を心掛ける

⇒首が動いてしまうと、視線を拾えず、うまく動作できない場合がございます。

■コエステーションが使いません。

コエステーションはインターネットに接続している状況下でのみ動作いたします。一度コエステーションが使えない状態で、インターネットに接続しても動作しない場合は、コエステーションを無効にしてから有効にしてみてください。